

解説

Journal of the American Medical Directors Association 2014; 15: 30-35.

Low testosterone levels, depressive symptoms, and falls in older men: a cross-sectional study.

Kurita N, Horie S, Yamazaki S, Otoshi K, Otani K, Sekiguchi M, Onishi Y, Takegami M, Ono R, Konno S-i, Kikuchi S-i, Fukuhara S.

転倒は寝たきりの主な原因であり、発症予測・予防が重要です。本研究では、高齢男性に多く見られるテストステロン減少やうつ状態が脆弱性の一因となることに着目し、転倒との関係性を調べました。結果、テストステロンが低い状態とうつ状態の両者は、独立に転倒と関係することがわかりました。テストステロン欠乏症とうつ状態は合併しうるため、転倒の危険性を相乗的に高める可能性が示唆されます。今後縦断的な評価が必要です。

